



ガウディア新聞

2021 autumn

使える力
Gaudia

発行:株式会社ガウディア
〒224-0003
神奈川県横浜市都筑区中川中央1-26-10
☎0120-528-728
(平日/10:00~19:00)



ガウディア代表取締役社長 小嶋隆からのおすすめ本

『おいしいのぼうけん』
ふるたたるひ・たばたせい いち 作/ 童心社 刊
さとしとあきらが互いに手をつなぎ、ふたりの大冒険が始まります! 子どもたちが小さな時に一緒に読んだ、思い入れのある1冊です。名作はどんなに時が経っても色褪せません。スリルたっぷりの冒険をぜひ味わってください。



秋といえば…食欲の秋、スポーツの秋、そして読書の秋!! 夕方、暗くなる時間が早くなってきたら、ぜひご家庭で読書の時間をつくってあげてください。
読書をするとういことがたくさんあります♪



語彙が増える

様々なジャンルの本を読むことで、普段の会話には出てこないような言葉に出会えます。単に言葉を知っているだけでなく、言葉を適切に選び、会話に使えるようになったら、表現力も豊かになります。

読書をするとういことによりことが!

感情や感性が発達する

日常生活では味わえないような感情や経験を体験でき、物語に登場する人物や動物に感情移入することで、思いやりや命を大切にすることが育まれます。

想像力が豊かになる

非現実の世界をわくわくしながら読むことで、想像力を養えます。特にコロナ禍でなかなか遠出ができない今、読書内の空想世界へ旅をしてみましょう。

以上のように、読書は単に知識を得るだけでなく、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにしてくれます。本を読むことで心身ともにリラックスし、ストレスが軽減されるともいわれています。子どもたちの心豊かな成長のために、親子で同じ本を読んで感想を言い合うなど、ぜひこの秋を「読書の秋」にしましょう。

ガウディアからのおすすめ本

幼児から

おばけ家族の世界をのぞいてみよう

『おばけかぞくのいちにち』西平 あかね 作 / 福音館書店 刊



さきちゃんとたろうくんが、夜なかなか寝ないと、お母さんが「もうおばけの時間よ」と言います。そうなんです。おばけのさくびーとたろうは夜起きて、ご飯を食べて保育園に行くのです。おばけの家族の暮らしを愉快地に詳細に描きます。

こどもから大人まで



考え方ひとつで楽しい未来がたくさん見えてきます

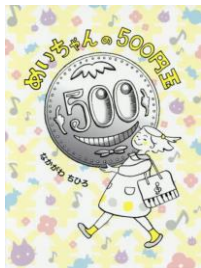
『それしかないわけないでしょう』ヨシタケ シンスケ 作 / 白泉社 刊

大人になったときに未来に待っているのは、大変なことばかり。おにいちゃんはその言うけど、それって本当!? それしかないわけないでしょう!

低学年から

自由に500円を使えとしたら、どう使うかな

『めいちゃんの500円玉』なかがわ ちひろ 作・絵 アリス館 刊



道で拾った500円玉がしゃべりだし、めいちゃんに「オレ様で好きな物を買っていい」という。おかし、お花…色々なものを買いに行きけれど、うまく買物できないめいちゃん。500円玉をなくしてしまったかわりに、手にいれたのは…

宿題を忘れたら、どんな言い訳をしよう?

『先生、しゅくだいわすれました』山本 悦子 作 佐藤 真紀子 絵 / 童心社 刊



しゅくだいをわすれ、でまかせのウソでいいわけをしていると、先生が「だめだなあ、ウソをつくならもっと上手につかなくちゃ」「え?」「すぐばれるようなのはだめよ。それから、聞いた相手が楽しくなるようなのじゃなくちゃ」「楽しくなる?」「そう。聞いた人がウソとわかって、はははってわらっちゃうようなのじゃなきゃ」…次の日から子どもたちはしゅくだいができなかったわけを考えてきて発表することに。

中学年から

こんなに強く、心優しいリーダーがいたらいいな

『くちぶえ番長』重松 清 作/新潮社 刊



小学四年生のツヨシのクラスに、一輪車とくちぶえの上手な女の子、マコトがやってきた。転校早々「わたし、この学校の番長になる!」と宣言したマコトに、みんなはびっくり。

書いたことが本当になる日記。あなたならなんて書く??

『はれときどきぶた』矢玉四郎 作・絵 岩崎出版 刊



あしたは「はれ、ときどきぶたがふるでしょう」。則安君が書いたてたらの日記。ところが日記に書いたことが現実になった!

高学年から

ふたりを待ち受ける冒険の数々に心がワクワク

『都会のトム&ソーヤ』はやみね かおる 作 にし けいこ 絵/講談社 刊



創也(頭脳明晰)×内人(平平凡凡?)。謎の天才ゲームクリエイターをさがすふたりの行く手には、多くの危険が待っていた。知恵と工夫の新・冒険記が、いま、はじまる!

読書の秋

Autumn of reading